

「飲酒運転ゼロを誓う、市民の集い 2019」

福岡市東区海の中道大橋で幼い3人が犠牲になった飲酒運転死亡事故から13年を迎えた8月25日に福岡市役所西側ふれあい広場で「飲酒運転ゼロを誓う、市民の集い2019」が開催されました。

福岡市舗装協会は今年もこの集いに参加しました。福岡市舗装協会は独自の飲酒運転撲滅キャンペーンを実施するなど、今後とも積極的に「飲酒運転撲滅」に取り組んでまいります。

〈飲酒運転撲滅大会次第〉

1. 黙とう
2. 挨拶
3. 飲酒運転撲滅宣言
4. 飲酒運転撲滅の想いを込めた折り鶴披露式・伝達式
5. 飲酒運転撲滅に向けた願い
6. 3ない運動＋1唱和
7. 飲酒運転特別取締り部隊出動式

「飲酒運転撲滅宣言」

飲酒運転は、市民の生命と安全を脅かし、多くの人に悲惨な結果をもたらします。

法律による厳罰化が進み、また、今日多くの市民が飲酒運転撲滅に取り組んでいるにもかかわらず、未だ飲酒運転による事故は後を絶ちません。

飲酒運転のない安全で安心して暮らせる社会の実現は、私たち福岡市民すべての願いです。

私たちは、重大な犯罪を引き起こし、人の命までも奪う、社会の敵である、飲酒運転をする者だけでなく、それを手助けする者も絶対許しません。

私たち福岡市民は、飲酒運転の撲滅に向け、地域や市民団体、NPO、事業者、行政、警察などあらゆる関係機関・団体が一体となって、飲酒運転による悲惨な事故のない、安全で安心して暮らせる社会の実現に取り組んでいきます。

ここに飲酒運転の撲滅を広く市民運動として展開し、社会の敵である飲酒運転を撲滅することを宣言いたします。



